

豊かな魅力ある地域づくりに活かそう新技術

平成29年9月15日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所**豊田市高年大学のOBの方が
災害時に活躍する機械を体験します！**
～旬な現場（災害時に活躍する機械の体験）を開催します～

1 概要

豊田市高年大学のOBの方を対象に、排水ポンプ車をはじめとした災害対策用機械の見学・体験会を開催します。11名が参加する予定です。

中部技術事務所では、災害時等に活躍する様々な機械を保有しており、10名以上の団体であれば、旬な現場（※1）としてどなたでも通年で見学していただくことができます。

※1 中部地方整備局では、社会資本の役割を知っていただくため、通常立ち入ることのできない工事現場やダムなどの施設を「旬な現場」として一般の皆さんに積極的に公開をしています。

中部技術事務所では、災害対策用機械を見学していただいております。

詳細については中部地方整備局HP 旬な現場のご案内します をご覧ください。

http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/

2 内容等

日時：平成29年9月20日（水）10時00分～12時00分

場所：中部技術事務所構内

内容：中部技術事務所保有している災害対策用機械の見学・体験

<見学・体験予定機械>

排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車、

無人化施工バックホウ、投下型水位計

報道取材：見学・体験会の全般において取材が可能です。

3 資料：添付資料

4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 金井 正輝 TEL:052-723-5701 (代表)

総務課長 伊神 啓介 FAX:052-723-5707

技術情報管理官 小村 伸次

6 その他：災害が発生もしくは防災体制時には見学・体験会を中止します。
中止の場合は、ご連絡しますので、取材を希望される方は事前に問合せ先までご連絡をお願いします。



● 中部技術事務所では、災害時等に活躍する様々な機械を保有しており、いつでも見学・体験ができます。

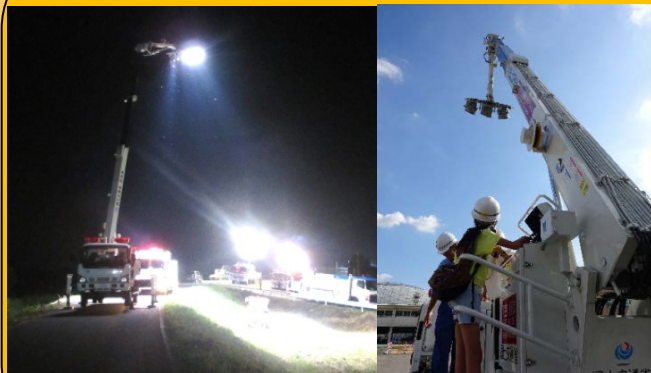
機 械 名	概 要
排水ポンプ車	浸水被害時に排水作業を行います。(体験可)
照明車	災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。(体験可)
対策本部車	車体を拡幅して現地対策本部として利用します。(体験可)
待機支援車	災害現場で仮眠所・休憩所として利用します。
無人化施工バックホウ	災害現場へ分解して空輸ができ、遠隔操縦が可能です。(体験可)
投下型水位計	衛星通信により土砂ダムの水位を遠隔監視します。
衛星通信車	衛星を利用し電話等がない場所でも映像・音声などを通信できます。
橋梁点検車	橋梁上から橋の下側を点検します。

中部技術事務所のご案内



※ 見学は、休日を除く開庁日とさせていただきます。
 災害対応時、出勤時は、見学できない場合があります。
 団体(10名程度以上)の皆様を対象に見学・体験していただけます。
 詳細については、お問い合わせください。

照明車



H27関東・東北豪雨での照明作業

操作体験をする小学生

排水ポンプ車



H27関東・東北豪雨での排水作業

操作体験

無人化施工バックホウ



H28熊本地震での作業状況 遠隔操縦状況

対策本部車



車体拡幅時

操作体験

【問合せ先】 中部技術事務所 総務課 電話：052-723-5701
 【アクセス】 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車1番出口より徒歩1分